

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年11月12日
【四半期会計期間】	第62期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
【会社名】	福島工業株式会社
【英訳名】	FUKUSHIMA INDUSTRIES CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 福島 裕
【本店の所在の場所】	大阪府大阪市西淀川区御幣島3丁目16番11号
【電話番号】	(06)6477 - 2023
【事務連絡者氏名】	総務人事部部長 日野 達雄
【最寄りの連絡場所】	大阪府大阪市西淀川区御幣島3丁目16番11号
【電話番号】	(06)6477 - 2023
【事務連絡者氏名】	総務人事部部長 日野 達雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第61期 第2四半期 連結累計期間		第62期 第2四半期 連結累計期間		第61期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		20,027,178		23,327,889		40,495,466
経常利益	(千円)		1,515,315		2,417,409		3,139,787
四半期(当期)純利益	(千円)		807,830		1,478,677		1,733,453
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		864,647		1,444,648		2,051,329
純資産額	(千円)		20,180,822		22,526,031		21,367,471
総資産額	(千円)		35,257,362		39,402,421		37,102,221
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		76.26		139.58		163.63
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		57.0		56.9		57.3
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		909,169		1,801,484		1,879,441
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,493,716		189,046		1,695,043
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		349,503		664,923		355,115
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		10,436,311		12,141,402		11,224,376

回次		第61期 第2四半期 連結会計期間		第62期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		50.44		79.35

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当企業集団(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間において、福島国際(香港)有限公司の全額出資により、マレーシアに福島国際マレーシア株式会社を新規設立しております。

この結果、平成24年9月30日現在では、当企業集団は、当社、子会社9社及び関連会社2社により構成されることとなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景に緩やかに回復が見られるものの、欧州の経済危機や長引く円高、電力供給に対する不安などから、先行きの不透明な状況が続きました。

当企業集団を取り巻く環境は、外食産業では、緩やかに個人消費に持ち直し感が見られるものの、消費者の節約志向や顧客確保のための企業間競争はますます激しくなるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。また、流通産業では、消費者の生活防衛意識が強まるなか、外食、中食、内食などの業種を越えた顧客獲得競争はますます激しくなりました。

このような状況の中、当企業集団は、独自の食品安心技術とトータルソリューション力で安全・安心・美味しい・健康な食生活を生活者に提供し、企業理念に掲げる「幸せ創造企業」の実現に向けて取り組んでまいりました。

冷凍冷蔵庫販売では、前年同時期の東日本大震災の影響による一時的な落ちこみから脱却し、外食産業における新規事業への参入や新業態への転換、改装による店舗への設備投資が徐々に増加してまいりました。また、高齢化を背景に着実に伸びている老健施設や宅配給食、病院給食向けの販売を強化したことやサービス付高齢者向け住宅が増加したことから、汎用業務用冷蔵庫や製氷機の売上が増加いたしました。さらに、病院や研究施設向けにメディカル機器の売上が増加したことや、食品工場向けのトンネルフリーザーの売上が好調に推移したことなどから、冷凍冷蔵庫販売の売上は増加いたしました。また、縦型冷蔵庫のフルモデルチェンジを行うとともに、省エネ節水型の小型製氷機を発売いたしました。さらに、8月にはメディカル機器の新ブランド「メディフリッジ」を立ち上げ、当社従来機よりも省エネで緻密な温度制御ができる新製品を市場投入いたしました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、都市部での買物の利便性を高める50坪程度の小型食品スーパーや地域の食を支える食品スーパーの新規出店が増加したことや節電志向がさらに浸透し、改装への設備投資が増加したことから、業界トップクラスの省エネ対応ショーケース（Send-you）と独自の省エネ制御システム（アクシア・エコ）の売上が増加いたしました。また、省エネ設備への投資に対する補助金制度の後押しもあり、削減した電気代で省エネ設備への投資が行えるESCO事業が着実に導入店舗を増やしました。また、インバータ冷凍機内蔵型ショーケースIMシリーズ（幅900mmタイプ）を発売し、省エネ製品のラインアップを拡充いたしました。

サービス販売では、節電対策による省エネ需要が高まる中、製品寿命を延ばし、効率的な運転を維持するサービスメニューの提案を引き続き行ってまいりました。また、節電を背景にコンデンサー洗浄により冷却能力を回復するメンテナンス需要が増加したことやE S C O契約による保守契約店舗の増加により、サービス販売の売上が増加いたしました。

設備工事では、オープンショーケースの売上増加に伴い、ショーケース関連の設備工事や大型冷蔵庫の売上が増加いたしました。

製造部門では、省エネに対する要望の高まりから、更なる省エネ製品の開発に注力してまいりました。また、滋賀工場では、生産性向上やライン増設を行い、需要増に対応するとともに、岡山工場でも生産性向上に取り組み、平準化生産による効率的な生産を行ってまいりました。さらに、利益確保に向けて部品の共通化や原材料の見直しによるコスト低減を行いました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は233億2千7百万円（前年同四半期比16.5%増）、営業利益は23億5千8百万円（前年同四半期比60.0%増）、経常利益は24億1千7百万円（前年同四半期比59.5%増）、四半期純利益は14億7千8百万円（前年同四半期比83.0%増）となりました。

## （2）財政状態の分析

### （流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は277億7千5百万円（前連結会計年度末は254億6千9百万円）となり、23億6百万円増加しました。これは主として現金及び預金の増加並びに売上高の増加による受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

### （固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は116億2千6百万円（前連結会計年度末は116億3千2百万円）となり、5百万円減少しました。これは主として投資その他の資産の「その他」に含まれる長期預金が減少したことによるものです。

### （流動負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は154億8千6百万円（前連結会計年度末は142億5百万円）となり、12億8千1百万円増加しました。これは主として支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

### （固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は13億8千9百万円（前連結会計年度末は15億2千9百万円）となり、1億3千9百万円減少しました。これは主として長期借入金の減少によるものです。

### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は225億2千6百万円（前連結会計年度末は213億6千7百万円）となり、11億5千8百万円増加しました。これは主として四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益を24億1千7百万円計上し、主に財務活動に資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ9億1千7百万円増加し、121億4千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、18億1百万円(前年同四半期比8億9千2百万円増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億8千9百万円(前年同四半期比13億4百万円減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億6千4百万円(前年同四半期比3億1千5百万円増)となりました。これは主に社債の償還及び長期借入金の返済による支出によるものです。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

#### 対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当企業集団の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### 株式会社の支配に関する基本方針

当社の財務および事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針

当社の財務および事業の方針の決定を支配する者の在り方としては、経営の基本理念、企業価値のさまざまな源泉、当社を支えるステークホルダーとの信頼関係を十分に理解し、当社の企業価値ひいては株主共同の利益を確保、向上させる者でなければならぬと考えております。当社としては、このような企業価値ひいては株主共同の利益を毀損するおそれのある不適切な大規模買付提案またはこれに類似する行為を行う者は、当社の財務および事業の方針の決定を支配する者として不適切であり、必要かつ相当な対抗措置をとることにより、当社の企業価値ひいては株主共同の利益を確保する必要があると考えます。

なお、その具体的な対抗措置につきましては、当社の企業価値および株主共同の利益を確保するために、積極的な情報収集と適時開示に努めるとともに、会社法その他関係法令および定款の許容する範囲内において適切な措置を講じてまいります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	31,842,500
計	31,842,500

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,033,080	11,033,080	東京証券取引所 市場第1部 大阪証券取引所 市場第1部	1単元の株式数 100株
計	11,033,080	11,033,080		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日		11,033,080		2,760,192		2,875,004

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
福島機器販売株式会社	大阪市西淀川区御幣島3 16 11	2,792	25.31
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1 8 11	1,062	9.63
福島工業社員持株会	大阪市西淀川区御幣島3 16 11	952	8.64
福島 裕	大阪府池田市	530	4.81
福島 亮	大阪府豊中市	330	3.00
有限会社 ティー・シー・エス・ピー	大阪府池田市旭丘2 10 8	275	2.50
ザ バンク オブ ニューヨーク ノントリーティー ジャスデッ ク アカウト (常任代理人 株式会社三菱東京 UFJ銀行決済事業部)	GLOBAL CUSTODY, 32ND FLOOR ONE WALL STREET, NEW YORK NY 10286, U.S.A. (東京都千代田区丸の内2 7 1)	195	1.77
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1 6 6	186	1.69
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社	東京都港区浜松町2 11 3	167	1.51
シージーエムエル アイピー ビー カスタマー コラテラル アカウント (常任代理人 シティバンク 銀 行株)	CITIGROUP CENTRE, CANADA SQUARE, CANARY WHARF, LONDON E14 5LB (東京都品川区東品川2 - 3 - 14)	123	1.12
計		6,617	59.98

(注) 1 上記の所有株式数のうち、信託業務にかかる株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社1,062千株

日本マスタートラスト信託銀行株式会社167千株

2 上記のほか当社所有の自己株式439千株(3.98%)があります。



(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 439,500		1単元の株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,587,300	105,873	同上
単元未満株式	普通株式 6,280		
発行済株式総数	11,033,080		
総株主の議決権		105,873	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」及び「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式がそれぞれ300株(議決権3個)及び1株含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の株式48株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 福島工業株式会社	大阪市西淀川区御幣島 3丁目16番11号	439,500		439,500	3.98
計		439,500		439,500	3.98

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,500,677	12,344,503
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 10,986,652	<sup>2</sup> 12,179,139
商品及び製品	1,014,963	1,195,323
仕掛品	599,945	530,234
原材料及び貯蔵品	1,090,550	1,150,805
その他	605,414	744,734
貸倒引当金	328,792	369,284
流動資産合計	25,469,410	27,775,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,555,479	2,527,498
土地	3,669,543	3,669,543
その他(純額)	791,936	902,460
有形固定資産合計	7,016,959	7,099,501
無形固定資産	97,583	104,497
投資その他の資産		
その他	4,578,341	4,479,248
貸倒引当金	60,075	56,281
投資その他の資産合計	4,518,266	4,422,966
固定資産合計	11,632,810	11,626,965
資産合計	37,102,221	39,402,421
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>2</sup> 10,119,973	<sup>2</sup> 11,024,765
短期借入金	355,973	363,100
未払法人税等	743,693	1,059,880
賞与引当金	670,952	920,592
製品保証引当金	208,545	180,156
その他	2,106,302	1,938,422
流動負債合計	14,205,441	15,486,917
固定負債		
長期借入金	411,827	329,541
退職給付引当金	665,644	615,794
役員退職慰労引当金	235,550	231,266
資産除去債務	95,549	96,022
その他	120,737	116,847
固定負債合計	1,529,308	1,389,472
負債合計	15,734,749	16,876,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	2,886,073	2,886,073
利益剰余金	15,731,168	16,923,819
自己株式	350,789	350,851
株主資本合計	21,026,644	22,219,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480,138	435,291
為替換算調整勘定	242,107	228,144
その他の包括利益累計額合計	238,031	207,146
少数株主持分	102,795	99,651
純資産合計	21,367,471	22,526,031
負債純資産合計	37,102,221	39,402,421

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	20,027,178	23,327,889
売上原価	15,383,091	17,411,497
売上総利益	4,644,087	5,916,392
販売費及び一般管理費	1 3,169,833	1 3,557,602
営業利益	1,474,253	2,358,789
営業外収益		
受取利息	3,580	4,001
受取配当金	22,151	23,148
受取家賃	47,293	44,810
受取補償金	5,326	8,973
その他	42,318	46,918
営業外収益合計	120,671	127,851
営業外費用		
支払利息	9,262	11,259
投資事業組合運用損	250	212
為替差損	55,286	40,136
支払補償費	8,376	9,815
その他	6,433	7,807
営業外費用合計	79,609	69,232
経常利益	1,515,315	2,417,409
特別損失		
投資有価証券評価損	48,757	-
特別損失合計	48,757	-
税金等調整前四半期純利益	1,466,557	2,417,409
法人税、住民税及び事業税	688,641	1,039,066
法人税等調整額	22,313	95,780
法人税等合計	666,327	943,286
少数株主損益調整前四半期純利益	800,230	1,474,123
少数株主損失( )	7,599	4,553
四半期純利益	807,830	1,478,677

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	800,230	1,474,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,192	44,847
為替換算調整勘定	2,224	15,372
その他の包括利益合計	64,417	29,474
四半期包括利益	864,647	1,444,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	871,083	1,447,792
少数株主に係る四半期包括利益	6,436	3,143

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,466,557	2,417,409
減価償却費	351,595	268,790
貸倒引当金の増減額（は減少）	2,617	33,332
賞与引当金の増減額（は減少）	21,893	249,637
製品保証引当金の増減額（は減少）	211	28,389
退職給付引当金の増減額（は減少）	31,688	49,849
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	9,060	4,284
受取利息及び受取配当金	25,732	27,150
支払利息	9,262	11,259
為替差損益（は益）	50,000	39,231
投資有価証券評価損益（は益）	48,757	-
投資事業組合運用損益（は益）	250	212
有形固定資産売却損益（は益）	42	131
有形固定資産除却損	2,059	220
売上債権の増減額（は増加）	1,125,212	1,249,373
たな卸資産の増減額（は増加）	467,477	162,687
その他の流動資産の増減額（は増加）	11,442	24,063
その他の固定資産の増減額（は増加）	11,440	9,645
仕入債務の増減額（は減少）	1,312,544	870,165
その他の流動負債の増減額（は減少）	9,189	152,412
その他	1,175	5,190
小計	1,680,022	2,492,551
利息及び配当金の受取額	25,678	27,406
利息の支払額	9,225	11,299
法人税等の支払額	787,305	707,174
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>909,169</b>	<b>1,801,484</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	1,130,042	259,064
定期預金の払戻による収入	112,000	419,764
有形固定資産の取得による支出	441,352	289,120
有形固定資産の売却による収入	5,140	18
無形固定資産の取得による支出	7,181	14,353
投資有価証券の取得による支出	34,011	47,168
貸付金の回収による収入	1,050	750
従業員に対する貸付金の回収による収入	680	126
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,493,716</b>	<b>189,046</b>

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	-	8,881
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	104,724	186,886
社債の償還による支出	-	300,000
自己株式の取得による支出	109	61
ファイナンス・リース債務の返済による支出	1,625	1,291
配当金の支払額	243,045	285,566
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>349,503</b>	<b>664,923</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	46,120	30,487
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	980,171	917,026
現金及び現金同等物の期首残高	11,416,482	11,224,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,436,311 <sub>1</sub>	12,141,402 <sub>1</sub>



【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 当第2四半期連結会計期間より、新たに設立した福島国際マレーシア株式会社を連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は3,334千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,766千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
双和アルミ工業株式会社	9,261千円	双和アルミ工業株式会社	7,938千円
計	9,261千円		7,938千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理について、当社においては満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	341,823千円	349,545千円
支払手形	47,696千円	33,620千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
荷造運賃	603,495千円	723,422千円
報酬給料及び諸手当	916,478 "	1,022,066 "
賞与引当金繰入額	333,421 "	430,686 "
退職給付引当金繰入額	84,506 "	68,887 "
役員退職慰労引当金繰入額	9,060 "	9,478 "
貸倒引当金繰入額	4,435 "	36,185 "
製品保証引当金繰入額	64,776 "	46,151 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	10,620,336千円	12,344,503千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	184,025 "	203,100 "
現金及び現金同等物	10,436,311千円	12,141,402千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	243,655	23	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	286,026	27	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
単一セグメントのため該当事項はありません。
2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)  
単一セグメントのため該当事項はありません。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
単一セグメントのため該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
単一セグメントのため該当事項はありません。
2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)  
単一セグメントのため該当事項はありません。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
単一セグメントのため該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当企業集団はデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	76円26銭	139円58銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	807,830	1,478,677
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	807,830	1,478,677
普通株式の期中平均株式数(株)	10,593,698	10,593,568

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月5日

福島工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 西村 猛 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 秦 一 二 三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている福島工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、福島工業株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。